

一学期を振り返って ～高2 小論文ガイダンスがおこなわれました～

高校2年生では総合学習の時間を利用し、小論文の書き方を学んでいます。事前に「貧困ビジネス」をテーマに800字程度の小論文を提出し、6月11日実際にその小論文を採点していただいた方を招いて小論文ガイダンスを実施しました。前半は小論文を学ぶ意義、後半は小論文の講評をいただきました。

なぜ小論文を学ぶのかという問いに対し、大学入試や就職試験のためだけでなく、大学や社会で求められる思考力や文章力・社会を生きていくスキルを身につけるために、受験での必要・不必要に関わらず全員が身につけるべき力であると学びました。

また、当学年では朝の時間を利用して新聞の社説を読み、要旨や自分の意見を述べるという練習をしています。その甲斐もあって、幼稚な作文・感想文のようなものはほとんど無く、自分の意見をしっかり述べた答案が多かったとの講評をいただきました。しかし字数不足、意見の根拠が示されていないという問題点も挙げられました。その問題点をふまえ、ガイダンス後提出した小論文の書き直しをしました。

今後は志望理由書の書き方、それぞれの志望系統やそれ以外の分野に関しても小論文を書く練習をしていきます。

